

第 14 回熊本県高校生ものづくりコンテスト

－測量部門審査員－

外村隆臣

環境構造グループ

1 はじめに

熊本県高校生ものづくりコンテストは、工業系学科及び総合学科に学ぶ高校生のものづくりに関する技術・技能の向上や人材の育成等を目的として開催される。熊本県大会において優勝すると九州大会へ、さらに九州大会で優勝すると全国大会へと進むことが出来る。「高校生技能五輪」、「ものづくり甲子園」などとも呼ばれており、出場する高校生はこの全国大会を目指し、日々、工業技術や技能を磨いている。今回は第 14 回熊本県高校生ものづくりコンテストの測量部門の審査員として参加したのでその報告をする。

2 高校生ものづくりコンテストの内容

熊本県大会は平成 29 年 6 月 17 日、18 日に熊本県立玉名工業高等学校において開催された。競技は全 8 部門で、合計 65 人の高校生達が日頃培ってきた技術を競い合う。1 日目に競技説明、抽選、会場下見等があり、2 日目に開会式の後、各部門において競技が始まる。測量部門の競技内容はトータルステーションを用いた「閉合トラバース測量とその計算」で、5 角形トラバース網の内角と測線長を測定し、計算書を作成する。午前中に外業・内業を行い、午後から審査を行う。測量部門の参加校は 5 校で、1 校 3 名（1 校 1 チーム）である。審査は競技に要した作業時間や測定の精度、計算書の完成度などについて全国大会の採点基準に準じて審査を行う。競技後、審査員からの講評を行い、閉会式で上位入賞校（入賞者）の発表と表彰式が行われる。

3 まとめ

参加した生徒達は大会に向けて練習しているため、競技中は非常に高い測量技術を見ることができた。日々の努力の成果を発揮できたのではないかと思う。年々全体のレベルが高くなっており、どのチームも技術的には大きな差を感じなかった。大会の様子や結果等は <http://sh.higo.ed.jp/tamanath/seikatsu/> に掲載されている。

平成 23 年度に開催された第 8 回大会から測量部門の審査員を務めている。熊本県大会の審査員は全部門合わせて 17 名で、測量部門は私 1 人であった。このような大きい大会に審査員として参加することができ、技術者として嬉しく思う。競技後の講評では、業務上、普段から測量に携わる機会が多いため、最近大学でやっている測量や新しい測量技術について、自分自身の経験を踏まえた講評をさせていただいた。今後も引き続きこのようなイベントに積極的に参加したい。